

（第1回検討委員会資料より抜粋）

4.環境創造エリア

未来創造エリアで発信された環境創造の取組の成果とその現況を発信

- 取組の「成果」や「現況」を紹介し、来館者が自分にもできることに気づき、未来のために行動を変えていくきっかけとなる

未来を担う子供たちが、福島において環境創造がどのように進んでいるかを楽しみながら学習する場。また、福島の自然の魅力を再発見し、改めて自然を守ることの大切さに気づく場。福島および地球の環境問題について自分ごととして捉え、自らの行動を変えていくきっかけを作る場。



地球の環境問題 (SDGsコーナー)

ユニバーサルな事象

5.環境創造シアター

ふくしまの視線の先に

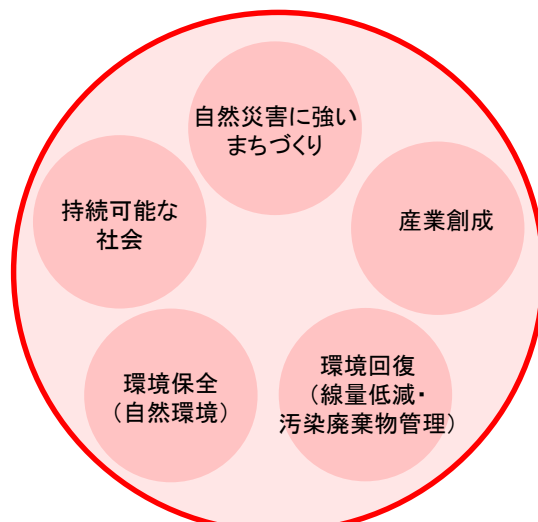
- 新規映像追加制作
環境を軸に未来指向の明るいビジョンを示す

2.未来創造エリア

解決すべき課題と未来へ向けてのビジョンを共有し、その実現に向けた取組を発信

- 「課題」の共有と「未来ビジョン」の提示
- 課題解決に向けた「取組」の情報発信

環境回復・創造の具体的な取組と未来のビジョンを示す。
・事故後の放射性物質による環境汚染からの回復への取組
・脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会など環境の視点から福島の強みを生かした未来へ向けた創造への取組
・環境技術等を中心とした福島発のイノベーションや自然災害に強いまちづくり等についての取組



1.プロローグ

ふくしまの3.11から

3.11に始まる原子力発電所の事故からの歩みと福島の今を伝える。「原子力に依存しない福島」という福島県の強い意志を発信するとともに、事故からの回復への歩みの記録を後世に伝える。

- ふくしまの歩みシアター 映像再編集

事故による環境への影響、事故後の環境回復のあゆみ、未来創造のビジョン等、リニューアル後の展示内容を効果的に学習できるように編集する。

6.触れる地球

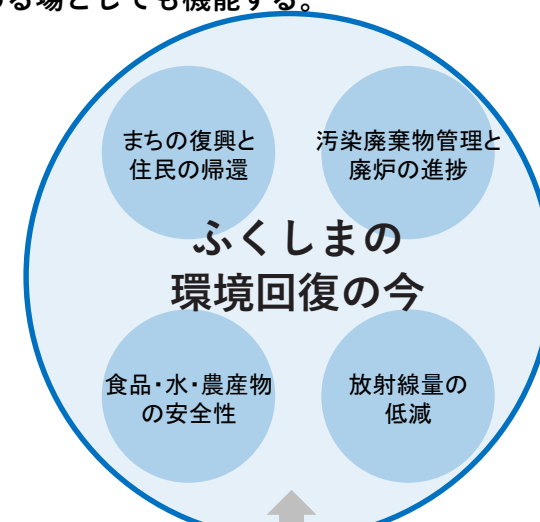
※変更なし

3.環境回復エリア

放射線に対する正しい知識及び未来創造エリアで発信された環境回復の取組の成果とその現況を発信

- 取組の「成果」や「現況」を伝えることで来館者が未来に対する希望を抱き再び人々が集うきっかけとなる

放射性物質の拡散による環境汚染から10年の時を経て次のフェーズに以降しつつある福島のこれまでの変遷と復興の現在を知る場。今後一層進む、復興に合わせ、住民が安心して福島で暮らしていくための放射線に関するリテラシーを高める場としても機能する。



放射線に関する基礎知識

- 既存放射線ラボ展示活用

ユニバーサルな事象